

# 「山の緑と太陽光発電を考える会」

令和元年5月23日

南箱根ダイヤモンドホール

# agenda

1. 初めに
2. 軽井沢メガソーラー案件概要
3. 箱根山御山組合さんの説明
4. FIT後のメガソーラー
5. 質疑応答

# agenda

## 1. 初めに

2. 軽井沢メガソーラー案件概要
3. 箱根山御山組合さんの説明
4. FIT後のメガソーラー
5. 質疑応答

# 1. 初めに

- ・ 5/27ㄨ切の函南町条例素案に対するパブリックコメント（パブコメ）終了前に急遽この会合をアレンジしました。
- ・ 現状の丹那の山の状況と、軽井沢メガソーラーが来るとどのような影響があるのか、良いところ、悪いところをご理解下さい。

**条例素案：。。。配布資料あり。**

<http://www.town.kannami.shizuoka.jp/gyosei/machizukuri-toshi/pabukome.html>

**ダイヤランド区民の会HP:**

<https://dialand.jp/archives/4335>

# agenda

1. 初めに
- 2. 軽井沢メガソーラー案件概要**
3. 箱根山御山組合さんの説明
4. FIT後のメガソーラー
5. 質疑応答

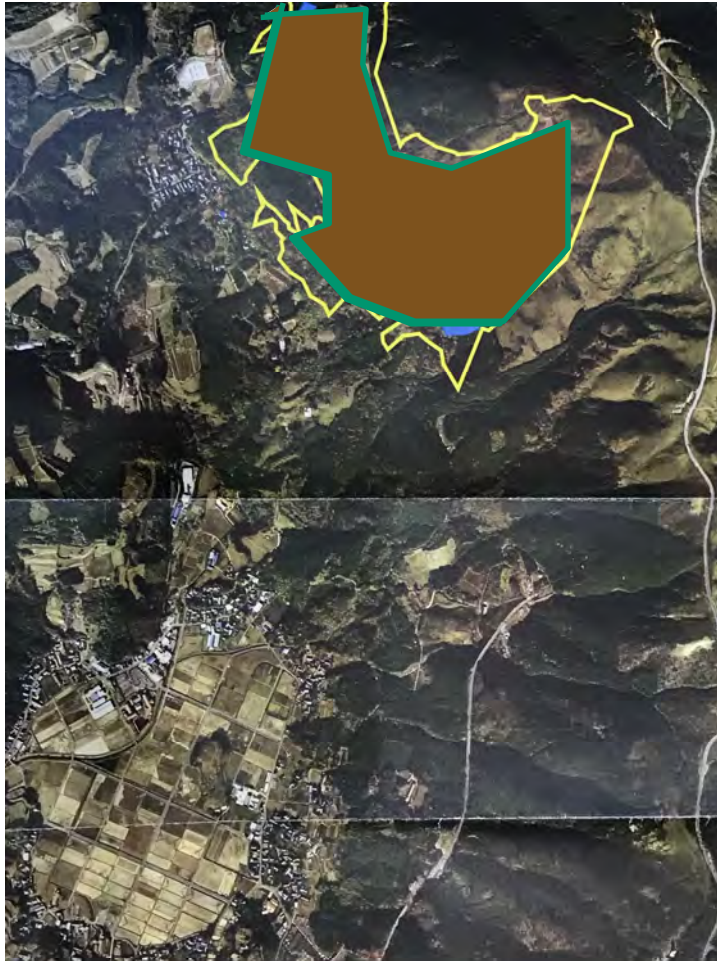
## 2. 軽井沢メガソーラー案件概要

Google Map

## 2. 軽井沢メガソーラー案件概要

ブルーキャピタル社  
資料参照

# 見え方はこうなるのでは？



・パネルは光を反射するタイプから**光を吸収するタイプへ変わってきている。見た目は黒く見える。** また電気機器、架台はすべて美観の配慮から**こげ茶色をベースとする色**になり目立たなくなる。

・一般的に効率の高い太陽光発電とは反射をできるだけ抑えながら多くの光を吸収することであるため、太陽光発電パネルの表面は、小さな凹凸を付けることにより反射されたエネルギーを拡散させ(弱め)ながら、より多くの光エネルギーを太陽光電池の層に閉じ込める構造をしています。その結果、太陽光発電パネルの反射レベルはスチールや雪の反射面の屈折率が2.5や2という数値であるのに対し、1.25という約2分の1の数値であり、標準的なガラスや住居等の反射面等の反射と比較しても圧倒的に低く、また安心なレベルと言えます。



# agenda

1. 初めに
2. 軽井沢メガソーラー案件概要
- 3. 箱根山御山組合さんの説明**
4. FIT後のメガソーラー
5. 質疑応答

### **3. 箱根山御山組合さんの説明**

**別紙資料参照**

**別紙資料参照し土地の経緯は理解頂けたと思います。この土地がこのまま荒廃したままですと大雨が降ったときに非常に危険で有り、それよりはメガソーラーでしっかり調整池を作り、かつ特高（特別高圧）案件なので監視人が常住し、また光回線も入り、インターネット経由業者が24時間365日しっかり大雨等も含め、センサーとカメラで遠隔監視した方が余程ましだという事です。**

**また雑草等の管理もしないといけなくなるので、地面の状態を自然に近い形で維持することとなります。**

**何も作らないで、企業も誘致せず、衰退する函南町より、大きな税収も有り、余程ましでは？**

# agenda

1. 初めに
2. 軽井沢メガソーラー案件概要
3. 箱根山御山組合さんの説明
- 4. FIT後のメガソーラー**
5. 質疑応答

\* FIT=feed-in-tarif 固定価格買取制度

## 4. FIT後の、20年以降のメガソーラー

- 国の方針 = 50年100年続く、続けさせるメガソーラー
- 発送配電分離の時代となりエネルギーの地産地消時代となる。発電して遠くに電気を運びロスし、また遠くから電気が来て、多くのロスをする時代は終わる。ローカルに発電所があることがベストの状態。また地域の防災非常電源となる。他の発電所は停電しても近くに発電所があれば安心。
- 古いGSは無くなり。。化石エネルギーを次世代に残す時代に。
- EV時代の電気は、自然エネルギー発電で調達
- 大型回転部分（発電器・モーター）のない、保守点検整備の費用が極小の太陽光発電。廃棄費用も少ない。  
(水力、火力、風力、地熱、原発すべて金がかかる。)
- \* 目の前に発電所は作らないでくれ、どこか他の所に作ってその電力だけ使わせてくれと言うのは。。。???
- 直流送電、直流配電の時代となる。太陽光発電はまず直流を発生。EV, LED電球、パソコン、携帯、、、すべて直流。

## ★ まとめ ★

- 山林ではなく茅畑から荒れ放題の笹畑となった放棄地である。
  - このまま荒れたまま、管理せず、放置されるよりは、業者が入り100億かけ（調整池も含め）整備することが良い。
  - その後、24時間365日管理され、監視人常駐＋遠隔監視可能
  - かつ、平均で、年間1億円の税収となる。
  - 丹那小学校地区の防災時非常電源としても稼働可能。
  - 最後のチャンスである。来年以降メガソーラーは建設困難。
- 
- FIT以降、100年続く再生・自然エネルギー発電として継続。
  - 発送配電分離となり本格的なエネルギー地産地消時代となる。
  - 古いGSは一段と減り、化石エネルギーを次世代に残す時代。
  - 主流となるEVの電力は、再生可能自然エネルギー発電で。
  - 保守点検整備費用が極小の太陽光発電。
  - 直流送配電/直流電力時代となり直流発電の太陽光発電優位

# agenda

1. 初めに
2. 軽井沢メガソーラー案件概要
3. 箱根山御山組合さんの説明
4. FIT後のメガソーラー
- 5. 質疑応答**

